加古川線

●加古川線とは

加古川線とは兵庫県の加古川駅と谷川駅の全長48.5kmを結ぶローカル線だ。加古川線の開業は1913年4月1日、全線開通は1924年12月27日と古い歴史を持つJR西日本の路線だ。



●加古川線で使用されている車両

· 103 系 3550 番台

JR西日本が103系の中間車を先頭車に改造した車両。この電車は2両編成で、ワンマン運転を行っている。JR西日本の網干総合車両所明石支所に所属する。



·125 系

JR 西日本が 2004 年 1 両編成 4 本製造した。この 車両も 103 系 3550 番台と同じく網干総合車両所明 石支所所属だ。営業時も 103 系 3550 番台と同じく ワンマン運転を行っている。



●列車のダイヤ

厄神行き、西脇行きが1時間に1本運転されているが、谷川行きは、1日に1本のみしか運転されていない。なお、西脇市から谷川行きが2時間に1,2本運転されている。



●撮影

我々は厄神駅近くの鉄橋で撮影をした。



▲(写真提供 高校2年 國分 健志郎)



▲1 両編成の車両だったので編成全体がとれた。

●感想

加古川線は、1、2両編成で走る路線であるのに、 高校生がたくさんいた。また、田舎なでのにもかか わらず、意外と人がいた。

ワンマン列車でのどかなところを走っている路線であるため風景も良く、見ているだけでとても気持ちが良かった。時間があったら乗る価値がある路線だと思うので、この路線はオススメだ。

最後までお読みいただきありがとうございました。